

ふうけつ 全国風穴サミットの取り組み

澤田結基（福山市立大学）、傘木宏夫（NPO地域づくり工房）、清水長正（駒澤大学）

要点 地域住民が主体的に行う、地域資源発掘・全国ネットワーク形成の取り組みである
 養蚕業を支えた蚕種貯蔵の歴史を中心に、地域資源として再評価されている
 一部では現在、日本酒や蕎麦などが貯蔵され、付加価値の高い商品開発が行われている

サミット実施の背景

風穴は、山の斜面から冷風が吹き出る場所で、自然状態のもの、過去に主として養蚕の蚕種貯蔵に用いられたものがあり、地域の自然モニュメント・産業遺産として重要な意味を持つ。国内に300ヶ所以上の風穴が知られており、とちぎ鹿追ジオパークを始め、多くのジオパークが風穴をジオサイトに指定している(図1)。

近年、この風穴を地域の資源として観光や産業、教育に活かそうとする動きの胎動が全国で同時多発的に起こりつつある。この動きは群馬県の荒船風穴(下仁田ジオパーク)が世界遺産に登録されてから加速し、風穴に関わる地域住民や行政、研究者が集まる場が求められるようになった。

そこで2014年8月、NPO地域づくり工房(長野県大町市)が中心となり、風穴の関係者が集まる「全国風穴小屋サミット」が長野県大町市で開催された。初の試みであったサミットは参加者102名と大盛況となり、各地の関係者のネットワーク化が一気に拡大した。その後は毎年開催され、内容が拡充されている。

自然風穴と風穴倉庫(風穴小屋)



自然風穴では、より寒冷な地域の生態系が局所的に維持されることがあり、地球の気候変動の歴史を示すモニュメント、生物多様性を支えるレフュージア(避難地)として重要である。(然別風穴群・とちぎ鹿追GP)

風穴につくられた倉庫では、明治一大正期にカイコの卵(蚕種)が貯蔵され、当時の生糸産業を支えた。一部の倉庫は今も、個人用・商用に使われている(左 荒船風穴・下仁田GP 右 稲核風穴・松本市)

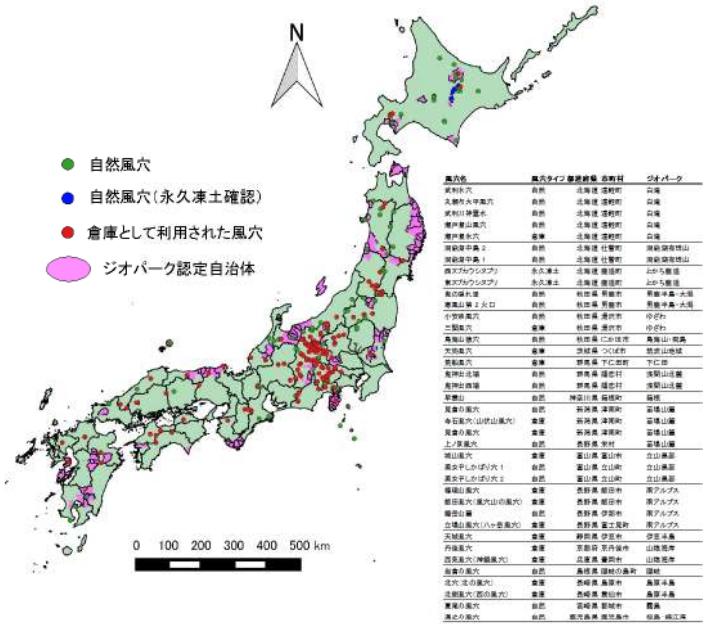


図1 風穴の分布とジオパーク 出典:清水・澤田編(2015)「日本の風穴」

風穴サミットの開催履歴

開催日と名称	会場	主催者	参加者
2014年8月30日 全国風穴小屋サミット	長野県大町市 大町市八坂公民館「アキソ」	NPO地域づくり工房	102名
2015年8月29日 第二回全国風穴サミット in 出雲	島根県出雲市 出雲須佐温泉さのさの郷ゆかり館	全国風穴サミット実行委員会 (中心となった団体:八雲風穴活性化グループ風太郎)	130名
2016年8月27日 第三回全国風穴サミット in 信州上田	長野県上田市 別所温泉あそめの湯ホール	信州上田風穴の会・全国風穴サミット 信州上田実行委員会 (中心となった団体:上田地球を楽しむ会など)	300名



第1回(長野県大町市)



第2回(島根県出雲市)



第3回(長野県上田市)



懇親会に並んだ風穴貯蔵酒(第1回)



現地見学(出雲市・八雲風穴)



現地見学(長和町集出荷施設・笹平風穴)

風穴サミットで紹介された各地の活用事例

観光地としての整備

長走風穴(秋田県大館市)
 風穴のしくみや歴史を紹介するビジターセンターが設置され、遊歩道が整備されている



長走風穴館の概観

荒船風穴(群馬県下仁田町)GP
 世界文化遺産への指定を契機に、駐車場と遊歩道を整備。ハイシーズンには駐車場からシャトルバスを運行中。

風穴利用と商品開発

稲核風穴(長野県松本市)
 風穴倉庫を新築し、味噌や松本の日本酒などを貯蔵している。一部商品は、隣接する道の駅「風穴」の売店で販売。



道の駅「風穴」併設の風穴倉庫内部

笹平風穴(長野県長和町)
 近代的な風穴倉庫で韃靼そばを貯蔵、韃靼そば専門のレストランで、通年にわたり品質のよいそばを提供している。

荒島風穴(福井県大野市)
 地域の蔵元が醸造した日本酒を長期貯蔵し、「荒島風穴」ブランドで販売。



長和町「緑の花そば館」の韃靼そば(運営:農事組合法人 信濃朝山タウナソバ)

地域学習での利用

然別風穴群(北街道鹿追町)GP
 小中高連携一貫教育の主要科目「新地球学」の中で、自然ガイドの案内で子どもたちが風穴を調べ、新聞にまとめている。

次回は2017年9月2-3日、長野県小諸市で開催します。ぜひご参加ください!